

東京芸術祭ファーム ガイドライン

東京芸術祭ファームは、他者へのリスペクトを前提とし、さまざまな人が創造的な力を安心して発揮できるよう、このガイドラインに則って運営されます。

以下は、参加者、スタッフ等、関わる全員に該当するものとします。

■ 差別やハラスメントの禁止

東京芸術祭ファームでは差別やハラスメントを禁止します。

性的性質を有する言動によりプログラムへの参加環境が害される場合、セクシュアル・ハラスメントに該当します。

(セクシュアル・ハラスメントの例)

- ・ 性的な関係を強要する。
- ・ 相手に断られているのに、理由をつけて何度も二人きりになりたがる。
- ・ 電子メール、手紙、SNS、電話等でしつこく付きまとう。
- ・ 相手の同意なく、不必要に身体に接近・接触する。
- ・ パソコンのスクリーンセーバーや背景画像等、他人が目にするところにヌードや水着の写真等を貼る。
- ・ 相手の容姿や身体等を話題にしたり、からかったりする。
- ・ 相手が嫌がっているのに恋愛経験や性体験について尋ねる。

パワーハラスメントとは、関係の優位性や自らの権力や立場を利用した嫌がらせのことです。

(パワーハラスメントの例)

- ・ 肉体的な攻撃
- ・ 精神的な攻撃
 - 脅迫する。
 - 他の参加者の前でひどい暴言を吐いたり、過度に威嚇的な行動をとる。
 - 人格を否定するような発言を繰り返す。
 - 名誉毀損となるような言動を行う。
 - 国籍、人種、信条、信仰、ジェンダー、性的指向、嗜好等を理由に非難、侮辱、排除する等、差別的な扱いをする。
 - 無視する等、存在を認めないような対応をする。
- ・ 私的なことに過度に立ち入る。

差別・ハラスメントをしないようにするためには、構成員一人ひとりが次の事項について十分認識した上でプログラムに参加してください。

- お互いの人格や信条、信仰を尊重しあうこと。
- お互いが大切なチームのメンバーであること。
- 言動に対する受け止め方には、個人間、立場等により差があり、ハラスメントに当たるか否かについては、受け手の判断が重要であること。
- 親しさを表すつもりと言動であったとしても、本人の意図とは関係なく、相手を不快にさせてしまう場合があること。
- 不快に感じるか否かには個人差があるため、この程度のことは相手も許容するだろうという勝手な憶測をしないこと。（相手との良好な人間関係ができていると勝手な思いこみをしないこと。）
- 相手が拒否している、又はいやがっていることが分かった場合には、同じ言動を決して繰り返さないこと。
- 差別やハラスメントであるか否かについて、相手からいつも意思表示があるとは限らないこと。

また、決められた活動日のみではなく、人間関係がそのまま持続する場（プログラム以外の時間での活動、オンライン飲み会やSNS）においても、同様です。

■ 他者の権利の侵害の禁止

プログラム中に知りえた個人情報やアイデア等、参加者しか知りえない情報を本人に断りなく口外することを禁止します。

（口外することを禁止する情報の例）

- プログラム中に共有された創作のアイデア
- 居住地、家族構成等のプライベートな情報
- まだ公開されていない活動の予定（公演の予定、フェスティバルへの参加予定等）

オンラインセッションの内容は、記録のために録画しています。オンラインセッション中に、著作権や肖像権等の他者の権利を侵害するものが映り込まないように注意をしてください。

（注意が必要な例）

- Zoomのバーチャル背景に使用する画像

- ・ 発表資料中に使用する画像等の素材
- ・ ビデオ通話の画面に映り込むもの（周囲にいる第三者の顔等）

作品、プレゼンテーション等、公にされる全ての創作物において、他者に権利がある素材を正当な手続きを経ずに使用することを禁止します。

■ SNS等での発信について

東京芸術祭ファームの各プログラムに参加しているご自身のことをSNSで発信することは問題ありません。

自分以外のこと（スタッフ、メンバー等）に関する文章、画像、動画等を投稿する場合は、事前に本人に了解を取るようにしてください。また、個人の名前が入っていても、個人を特定しうる情報が入っている場合も同様です。

■ プログラムをより良くするために

- 自分の立場（地位、年齢、性別、国籍等）が、周囲に与える影響に自覚的になり、適切に発言・行動すること。
- 「セーフ・スペース」（誰もが安心できる場）を全員で構築することが、より良い創作や交流に繋がるという認識の上に、参加者全員が自覚的に場作りをしていくこと。
- 東京芸術祭ファームでは、参加者、スタッフ全員の風通しの良い双方向のコミュニケーションを大事にしています。プログラム参加中に、もしプログラムの運営や内容等に対する意見、要望、疑問、その他不安や心配なことがあればいつでも各プログラムの担当者にご相談ください。